

1. 本ガイドの位置付け

弊社情報システム開発方法論の「フェーズガイドブック」では、そのアクティビティの中にレビューも盛り込まれている特徴を持つ。本ガイドでは、レビューやテストなどを含む品質管理活動全体に焦点を当て、メリハリのある品質管理についての考え方とノウハウを提供することを目的としている。

2. 本ガイドの主旨

IT がインフラ化した現在、その品質が今まで以上に重要視されているが、品質が伴わないことによるトラブルが跡を絶たない。このようなトラブルの発生を可能な限り未然に防ぐためには、品質管理に関する諸活動を全社レベルで実行していく事が必要であり、情報システムの設計・開発に携わる技術者は、モノづくりの原点に帰って情報システムの「品質保証」を行い、システムの質を高める活動をリードする力が求められている。

そこで本ガイドでは、品質管理の基本的な考え方である源流管理や重点品質に着眼して、どのようにメリハリのある品質管理を実現するかについて述べている。その特徴は、QFD を応用して重要要件を捉え、品質を効率的に高めていく事をエンジニアリング的アプローチで実践することである。

本ガイドのアプローチによって、よりの確に重要要件を捉えることができ、何に対してどのように品質保証を行えばいいかが理解しやすくなるはずである。情報システム開発の現場で、本ガイドを是非ご活用頂きたい。

2015. 09
株式会社プライド
佐藤大十

参考：目次構成

1. 品質とは ～品質の定義とその特性・原理原則～	1
1.1. 品質トラブルの時事と陥りやすい品質問題	
1.2. 品質の定義	
1.3. ユーザ要求とその特性	
1.4. 「システム品質」の概念と特性	
1.5. 源流管理	
1.6. システム品質に対するアプローチ	
2. 品質管理活動の全体像	11
2.1. 品質管理活動とその概要	
2.2. 品質管理活動の全体像	
2.3. 本ガイドが提唱する品質管理活動具体化の方針	
3. 品質計画活動	15
3.1. 基本的な考え方	
3.2. 品質計画のアクティビティ説明	
4. 品質保証活動	26
4.1. 設計レビュー	
4.1.1. 基本的な考え方	
4.1.2. 設計レビューのアクティビティ説明	
4.2. コードレビュー	
4.2.1. 基本的な考え方	
4.2.2. コードレビューのアクティビティ説明	
4.3. テスト	
4.3.1. 基本的な考え方	
4.3.2. 欠陥の種類と「V&V」/テスト方法	
4.3.3. テスト順序の考え方とテスト工程	
4.3.4. テストのアクティビティ説明	
5. 品質コントロール活動	55
5.1. 品質コントロール活動のアクティビティ説明	
6. 品質改善活動	57
6.1. 改善計画立案	
6.2. 具体化と試行	
6.3. 改善実施と定着	
あとがき	67
●参考文献	68
●付録	68

以上